

# 第41回原子力総合シンポジウム・プログラム

2003 National Symposium on Atomic Energy, Tokyo, Japan

## 主調テーマ：

「新時代を切り拓く原子力の取り組み - 信頼される科学技術として」

日 時 2003 年 5 月 21 日 (水) ~ 22 日 (木) 9:45 ~ 17:00

会 場 千代田区立内幸町ホール (東京都千代田区内幸町1-5-1)

**開催趣旨** 原子力関連学協会の共同主催により、21世紀を迎えてますます重要になりつつある地球環境の維持・保全を考えたエネルギーの安定供給のあり方について、学界 - 産業界の各専門分野の研究者 - 技術者間の情報の交換・普及を図ると共に、単に専門家のみならず、一般の人々をも対象にして、エネルギー問題の現状と将来の展望を考え、人類と地球環境が直面している問題点を明らかにし、共通の理解を深めるため、本シンポジウムを開催する。

5月21日(水)

午前の部

開会の辞 9:45 ~

挨拶

運営委員長 柳沢 務

日本原子力学会会長 成合英樹

招待講演 1 (10:00 ~ 10:45)

「新時代に求められる原子力科学技術の展望」

司会：宮本俊樹氏((株)東芝)

原子力委員会委員長 藤家洋一氏

1. 「信頼される技術としての原子力」(10:45 ~ 11:30)

司会：斉藤伸三氏(日本原子力研究所)

特別講演 1. 「技術、社会、安全」

国際基督教大学 村上陽一郎氏

(1) 科学技術の倫理問題(11:30 ~ 12:30)

司会：北村正晴氏(東北大学)

1) 倫理にかかわる企業統治

経営倫理実践研究センター 島村昌孝氏

2)信頼される技術であり続けるために-技術倫理の視点から-

金沢工業大学/東京大学 安藤恭子氏

————— 昼 休 (12:30 ~ 13:30) —————

**5月21日(水)**

午後の部

(2)設備健全(保全)を支える維持基準(13:30 ~ 14:30)

司会：出沢正人氏(日本原子力発電(株))

1)原子力発電所の健全性と維持規格

東京工業大学 小林英男氏

2)航空分野における維持基準

日本航空(株) 遠藤 怜氏

2. 「循環型社会における燃料サイクル技術」(14:45 ~ 16:45)

司会：松本史朗氏(埼玉大学)

(1)燃料サイクルシステムのめざす所

核燃料サイクル開発機構 野村茂雄氏

(2)核変換技術の未来

日本原子力研究所 高野秀機氏

(3)運転準備の進む六ヶ所再処理施設

日本原燃(株) 鈴木一弘氏

(4)高レベル放射性廃棄物の処分事業の現状

原子力発電環境整備機構 北山一美氏

**5月22日(木)**

午前の部

招待講演 2 (9:45 ~ 10:30)

司会：新田隆司氏(関西電力(株))

「原子力安全委員会の変遷 - 事故事象,トラブルへの対応を通じ」

原子力安全委員会委員長 松浦祥次郎氏

3. 「21世紀のエネルギー需給と原子力」(10:30 ~ 11:15)

司会：内山洋司氏(筑波大学)

特別講演 2. 「次世代のエネルギーシステム」

(財)日本エネルギー経済研究所 伊藤浩吉氏

(1)環境問題と水素エネルギー(11:15 ~ 12:15)

1)水素・燃料電池社会を目指して

トヨタ自動車(株) 中村徳彦氏

2)原子力による水素エネルギー-現状と期待-

原子力システム研究懇話会 堀 雅夫氏

————— 昼 休 (12:15～13:15) —————

**5月22日(木)**

午後の部

(2)エネルギー外部性評価と原子力の役割(13:15～14:15)

司会：池本一郎氏((財)電力中央研究所)

1)リスク論に基づくエネルギー外部性研究のスコープとその現状

政策科学研究所 伊東慶四郎氏

2)次世代エネルギーシステムの環境負荷低減効果

(財)地球環境産業技術研究機構 時松宏治氏

4. 「次世代を切り拓くエンジニアの育成」(14:30～16:45)

司会：工藤和彦氏(九州大学)

特別講演3. 「なぜいまプロが必要なのか」

工学院大学 大橋秀雄氏

(1)最近のJABEEの活動状況

武蔵工業大学 相沢乙彦氏

(2)技術士原子力部門の設置

東京大学 班目春樹氏

(3)原子力分野における技術者継続教育

日本原子力学会CPD WG主査 宮沢龍雄氏

(4)パネルディスカッション

司会：鳥井弘之(東京工業大学)

パネラー：工藤和彦氏，相沢乙彦氏，

班目春樹氏，宮沢龍雄氏，

福井大学 児嶋眞平氏

## 共 同 主 催

(40学協会 50音順)

エ ネ ル ギ ー ・ 資 源 学 会  
(社)火力原子力発電技術協会  
(財)原子力安全研究協会  
(社)電 気 学 会  
(社)日 本 医 学 放 射 線 学 会  
(社)日 本 機 械 学 会  
(社)日 本 建 築 学 会  
日 本 シ ミ ュ レ ー シ ョ ン 学 会  
日 本 地 球 化 学 会  
(社)日 本 非 破 壊 検 査 協 会  
日 本 放 射 化 学 会  
日 本 保 健 物 理 学 会  
(社)粉 体 粉 末 冶 金 協 会  
(社)レ ー ザ ー 学 会

(社)応 用 物 理 学 会  
(社)空 気 調 和 ・ 衛 生 工 学 会  
(社)資 源 ・ 素 材 学 会  
(社)土 木 学 会  
(社)日 本 化 学 会  
(社)日 本 空 気 清 浄 協 会  
(社)日 本 高 圧 力 技 術 協 会  
(社)日 本 セ ラ ミ ッ ク ス 協 会  
日 本 地 質 学 会  
日 本 複 合 材 料 学 会  
日 本 放 射 線 影 響 学 会  
(社)日 本 溶 接 協 会  
(社)プ ラ ズ マ ・ 核 融 合 学 会

(社)化 学 工 学 会  
(社)計 測 自 動 制 御 学 会  
(社)電 気 化 学 会  
(社)日 本 ア イ ソ ト ー プ 協 会  
日 本 核 医 学 会  
(社)日 本 原 子 力 学 会  
日 本 混 相 流 学 会  
(社)日 本 造 船 学 会  
(社)日 本 電 気 協 会  
(社)日 本 分 析 化 学 会  
(社)日 本 放 射 線 技 術 学 会  
(社)日 本 流 体 力 学 会  
(社)溶 接 学 会

## 後 援 機 関

原 子 力 委 員 会  
日 本 原 子 力 研 究 所  
(財)日本原子力文化振興財団

原 子 力 安 全 委 員 会  
核 燃 料 サ イ ク ル 開 発 機 構

日 本 学 術 会 議  
(社)日 本 原 子 力 産 業 会 議

## 「第40回原子力総合シンポジウム」運営委員会

(学協会名50音順・敬称略。 は委員長)

(エネルギー・資源) ———	(応 物) ———	(化学工学) 鈴木 篤之
(火 原 協) 五 明 利 栄	(空 調 ・ 衛 生) ———	(計測自動制御) 川 嶋 健 嗣
(原 安 協) 石 川 秀 高	(資 源 ・ 素 材) 須 藤 茂 韶	(電 気 化 学) 岸 尾 光 二
(電 気) 中 沢 正 治	(土 木) ———	(R I 協) 北 原 明 治
(医学放射線) 早 淵 尚 文	(化 学) ———	(核 医 学) 本 田 憲 業
(機 械) 文 沢 元 雄	(空 気 清 浄 協) ———	(建 築) 渡 部 征 男
(高 圧 力 協) 朝 田 泰 英	(混 相 流) ———	(シミュレーション) 矢 川 元 基
(セラミックス協) ———	(造 船) 野 本 敏 治	(地 球 化 学) 海 老 原 充
(地 質) 天 野 一 男	(電 気 協) 浅 井 功	(非 破 壊 協) 大 岡 紀 一
(複 合 材 料) ———	(分 析 化 学) 葉 袋 佳 孝	(放 射 化 学) 吉 田 善 行
(放 射 線 影 響) 高 橋 千 太 郎	(放 射 線 技 術) 小 野 口 昌 久	(保 健 物 理) 吉 川 進
(溶 接 協) 矢 川 元 基	(流 体 力) ———	(粉 体 粉 末 協) ———
(プ ラ ズ マ) 岡 野 邦 彦	(溶 接) 西 本 和 俊	(レ ー ザ ー) 今 崎 一 夫
(原 子 力) 鈴 木 光 雄	(原 子 力) 福 田 研 二	(原 子 力) 松 本 史 朗
(原 子 力) 柳 沢 務		

参加費および参加登録(参加費には予稿集1冊含みます)

共催学協会会員 5,000円

一 般 6,000円

学 生 無料(予稿集は実費頒布)

当日,会場で申し受けます。事前登録は必要ありません。

予稿集(A4判オフセット印刷)

予稿集のみ購入ご希望の方は1冊 2,000円(税込),送料400円で実費頒布いたします。

問い合わせ先 「原子力総合シンポジウム運営委員会」事務局

〒105-0004 東京都港区新橋2-3-7 新橋第二中ビル3F

(社)日本原子力学会内

TEL.03-3508-1261, FAX.03-3581-6128

郵便振替口座 00130-5-55932(加入者名:(社)日本原子力学会)

E-mail: atom@aesj.or.jp ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/aesj/>